



平成 21 年 2 月 4 日

各 位

会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小林 喜光
(コード番号 4188 上場取引所 東証一部・大証一部)
問合せ責任者 広報・I R 室長 奥川 隆生
(tel 03-6414-4870)

連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 31 日の第 2 四半期決算発表時に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日）の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

連結業績予想の修正

1. 連結業績予想修正の内容

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	億円	32,700	1,250	1,210	350
今回修正予想 (B)	億円	29,700	220	60	580
増減額 (B - A)	億円	3,000	1,030	1,150	930
増減率	%	9.2	82.4	95.0	-
前期実績	億円	29,298	1,250	1,289	1,641

2. 連結業績予想修正の理由

第 3 四半期連結累計期間の業績動向、及び第 4 四半期連結会計期間におけるさらなる経営環境の悪化が予想されることから、今回下方修正いたしました。

主要前提の変更

		前回	今回
ナフサ価格 (円 / KL)	第 3 四半期	60,000	52,800
	第 4 四半期	60,000	25,000

(第 2 四半期連結累計期間 78,100 円/KL、通期 58,500 円/KL)

期末配当予想の修正

1. 配当予想（1株当たり配当金）の修正内容

基準日	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	-	8円	16円
今回修正予想	-	未定	未定
当期実績	8円	-	-
前期実績	8円	8円	16円

2. 配当予想（1株当たり配当金）の修正理由

当社は、配当につきましては、連結業績に応じて配当を行うこと（配当性向は中長期的な利益水準の30%以上を目安）を基本としつつ、中長期的な安定配当及び、事業展開の原資である内部留保の充実等を総合的に勘案して実施することとしています。

平成21年3月期の期末配当金につきましては、上記のとおり経営環境の急速な悪化に伴い、連結業績予想を修正したことから、現時点では、「未定」とし、当期の通期実績及び来年度の業績見通し等を総合的に勘案した上でご提案させていただきます。

今後の対策

当社グループを取り巻く事業環境は、広範囲な分野に亘ってかつて無い程の厳しさに直面しており、しかもこの厳しさは当面続くと覚悟せざるを得ません。そういう中であっても、平成22年3月期は収益を復元することを目標として定め、主に三菱化学グループ、三菱樹脂グループを対象に以下の対策を進めています。

< 徹底した固定費の削減 >

- ・ 経費全般のゼロベースでの見直し
- ・ 人事的施策（役員報酬、社員賞与、要員配置等）
- ・ 研究開発費の選択と集中

< 資産の圧縮 >

- ・ 設備投資の大幅な抑制
- ・ アセットライト（棚卸資産・売掛サイトの圧縮、資産の売却）

< 事業構造の改革 >

痛みにひるむことなく取り進めを加速

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上